

4°C

holdings group

株式会社4°Cホールディングス 第66期株主通信

(2015年3月1日から2016年2月29日まで)

株主の皆様へ

～ すべてはお客様の“笑顔”や“ときめき”のために ～

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただけましたら幸いです。



代表取締役社長 鈴木 秀典

2016年2月期の総括

第4次中期経営計画初年度の2016年2月期は、「Challenge & Evolution (挑戦と進化)」をテーマに掲げ、事業ごとの重点施策に取り組んだことにより、5期連続の増収、7期連続の増益となりました。上期の業績が計画を上回り順調に推移したことに加え、下期もジュエリー事業最大の商戦月である12月の既存店売上高が大変好調であったことから、売上高は計画を上回り、利益は2ケタ成長となりました。なお、営業利益、当期純利益は4期連続、経常利益は5期連続で過去最高を更新しました。事業セグメント別に見ると、ジュエリー事業では、主力の「4°C」(ヨンドシー)ジュエリーが、ゾーン・アイテムの拡充による売場面積の拡張や複合店化等により既存店が好調に推移しました。また、「4°C BRIDAL」(ヨンドシーブライダル)のフェア施策の奏功、「canal4°C」(カナルヨンドシー)や「Luria 4°C」(ルリアヨンドシー)の出店拡大、好調なEC事業等も業績を牽引しました。アパレル事業は、天候不順や円安の影響等もあり、厳しい状況で推移しましたが、デイリーファッション「パレット」は計画的な出店による関西ドミナント戦略の推進や既存店の健闘により好調に推移しました。

株主の皆様への利益還元

当社グループは株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識し、安定的・継続的な配当を基本としつつ、機動的な自己株式の取得等により利益還元の水準向上を目指しています。当期は中間配当を含め、年間配当を40円とさせていただきます。2017年2月期は中間・期末ともに25円、年間配当50円と10円の増配を予定しています。また、株主様への利益配分については、配当性向を段階的に高め、中期的に30%を目指していくことで配当水準の向上に努めます。

第4次中期経営計画のビジョン実現に向けて

第4次中期経営計画の2年目となる2017年2月期の連結業績は、ジュエリー事業のさらなる成長とアパレル事業の立て直しにより、引き続き過去最高益の更新を目指します。そして、「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に継続して取り組んでいきます。今後も当社グループの成長にご期待ください。

第4次中期経営計画 (2016年2月期～2018年2月期) 重点施策の進捗状況 重点施策を着実に実施し、初年度に計画を上回る成果を達成

重点施策

積極的な出店戦略、3か年で70店舗

次の成長戦略を担う事業の開発・育成

「成長エンジン5本柱」の継続による事業規模の拡大

初年度の進捗

2016年2月末で33店舗を新規出店

- ・「Luria 4°C」を17店舗出店、出店を加速
- ・EC売上高、前期比40%増と大幅成長
- ・ECによるブライダルジュエリーの取扱い検証開始
- ・中国マーケットの開拓に向け、市場にあった商品構成等ノウハウを蓄積

- ・「4°C」ジュエリー、「canal4°C」は好調継続
- ・「4°C BRIDAL」はフェア施策等の奏功により好調
- ・デイリーファッション事業「パレット」は既存店伸張と出店拡大により関西ドミナントを深耕

2016年2月期(2015年3月～2016年2月) 連結決算概要

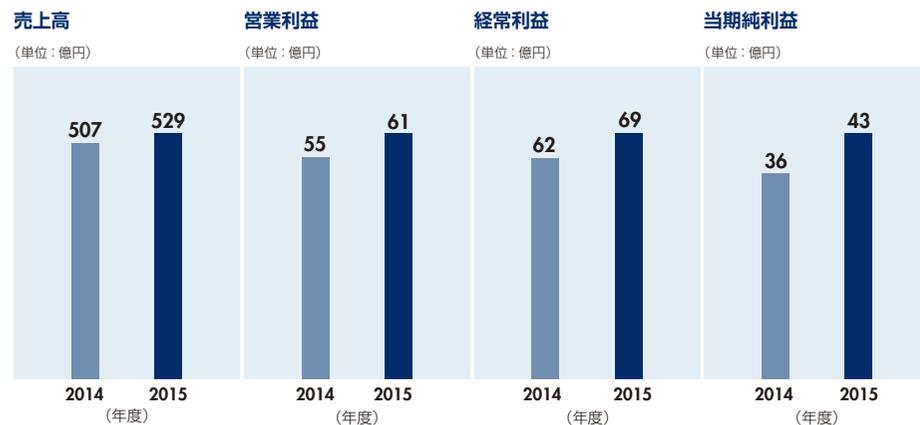
2016年2月期連結業績

■ 売上高は5期連続で増収となり、営業利益、当期純利益は4期連続、経常利益は5期連続で過去最高を更新しました。

■ 前期(2015年2月期)には消費税率引き上げによる駆け込み需要がありました。好調なジュエリー事業が業績を牽引し、売上高は前期を上回りました。

利益面においても、売上高の拡大に伴い増加したことに加えて、利益率が改善したことにより、営業利益高、経常利益高、当期純利益高ともに前期比2ケタの増加となりました。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
52,883 百万円 (前期比 +4.3%)	6,113 百万円 (前期比 +11.8%)	6,854 百万円 (前期比 +10.8%)	4,277 百万円 (前期比 +18.4%)



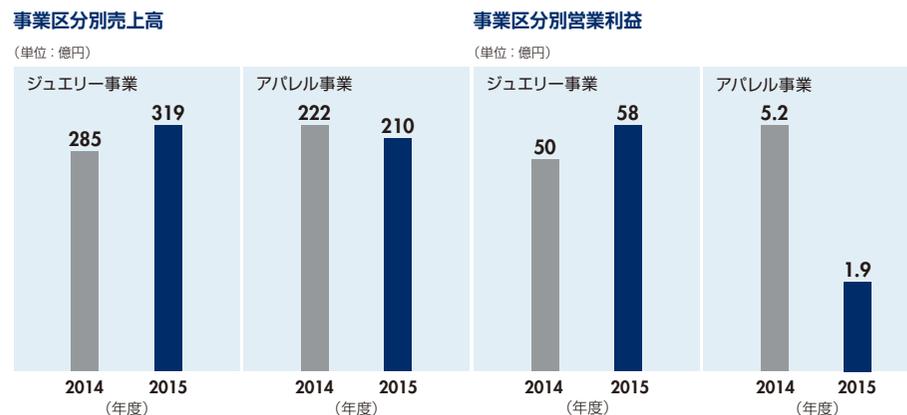
セグメント情報

■ ジュエリー事業は増収増益となりました。「4℃」ジュエリーが、既存店の改装にあわせたゾーン・アイテムの拡充や複合店化等に取り組んだことにより好調に推移しました。また、フェア施策を実行した「4℃ BRIDAL」や積極的な出店拡大を行った「canal4℃」は売上高前期比2ケタ増と大幅に伸張しました。加えて、計画以上の出店を進めた「Luria 4℃」や、取扱い店舗数を大幅に増加させた「4℃」バッグ、4期連続2ケタ成長を続けるEC事業も業績を牽引しました。その結果、売上高は4期連続、営業利益は7期連続で過去最高を更新しました。

■ アパレル事業は減収減益となりました。天候不順や円安の影響等もあり、厳しい状況となりましたが、(株)アーヂュでは、主力のデイリーファッション事業「パレット」の計画的な出店拡大や、既存店の健闘により好調に推移しました。

事業区分別業績	売上高 (単位: 百万円)			セグメント利益 (単位: 百万円)		
	2015年2月期	2016年2月期	前期比(%)	2015年2月期	2016年2月期	前期比(%)
ジュエリー事業	28,537	31,880	+11.7	4,980	5,831	+17.1
アパレル事業	22,189	21,003	△5.3	522	188	△63.9

注1: 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2: 外部顧客に対する売上高を表示しています。注3: 2015年2月期の事業区分別業績は遡及修正しています。



トピックス

canal4℃、Luria 4℃海老名店オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2015年10月29日(木)、海老名駅に直結した商業施設「三井ショッピングパーク ららぽーと海老名」が開業され、2Fに「canal4℃」と「Luria 4℃」を隣接店として出店しました。2つのブランドが隣接していることで、相乗効果により集客力が高まり、多くのお客様にご来店いただいております。隣接店や複合店等、ブランドミックスの可能性を今後も模索しながら、多くのお客様に喜んでいただけるブランド作り・店舗作りを進めていきます。



canal4℃とLuria 4℃が隣接するららぽーと海老名店

Luria 4℃横浜ルミネ店オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2016年3月3日(木)、ルミネ横浜店に「Luria 4℃」をオープンしました。4F下りエスカレータ前に位置し、視認性も良く回遊性も非常に高い好立地への出店となっています。「Luria 4℃」が提案する「ジュエリーのようにキラキラきらめくジュエリッシュパースに触れるたびに、毎日が輝きで満たされますように」という願いを込めて、これからもファン拡大に取り組んでいきます。多くのお客様に愛されるブランドとして、さらなる成長へ向けてまい進します。



Luria 4℃横浜ルミネ店

Luria 4℃ riduo立川ルミネ店オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2016年3月1日(火)、ルミネ立川店に「4℃」バッグと「Luria 4℃」の複合店である「Luria 4℃ riduo (リデュオ)」をオープンしました。riduo (リデュオ)とは、rich (豪華な、贅沢な)とduo (2つのブランドが奏でる調和)を組み合わせて創った言葉です。2つのブランドが奏でる調和が華やかに響きわたり、「日常に喜びと潤いをもたらすバッグと瑞々しく光り輝く小物たちが、たくさんの方々に幸せをお届けできますように」という思いが込められています。



Luria 4℃ riduo立川ルミネ店

アスティダッカ駐在員事務所設立

株式会社アスティ

(株)アスティは2016年3月初旬に、 Bangladesh の首都ダッカに駐在員事務所を設立しました。(株)アスティでは Bangladesh を中国に次ぐ海外生産の拠点と位置づけており、生産の拡大を進めています。この度、日本より駐在員を派遣し、現地スタッフと共に品質管理・生産管理を強化することで、さらなる品質の向上と納期の安定を図ります。



アスティダッカ駐在員事務所

パレット大和郡山店オープン

株式会社アージュ

関西地区への集中的な出店によりドミナント戦略を推し進めているデリーファッション事業「パレット」では、2015年11月25日(木)、奈良県で2店目となる大和郡山店をオープンしました。

これからも計画的な出店による関西ドミナント戦略を推し進めるとともに、地域のお客様にご満足いただけるような店舗作りを目指してまいります。



パレット大和郡山店

パレット「LINE@」スタート

株式会社アージュ

(株)アージュでは、デリーファッション事業「パレット」のLINE公式アカウントの運用を始めました。

公式アカウントへの友だち登録をいただいた会員様には、お買い物5%クーポンをプレゼントするほか、旬のアイテムやおすすめ商品、お得な情報等、お客様のお役に立つ情報を配信していきます。



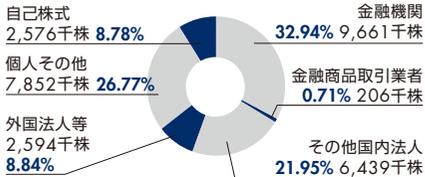
株主情報

株式情報 (2016年2月29日現在)

発行済株式総数	29,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	8,463名

株式分布状況 (2016年2月29日現在)

■所有者別株式分布

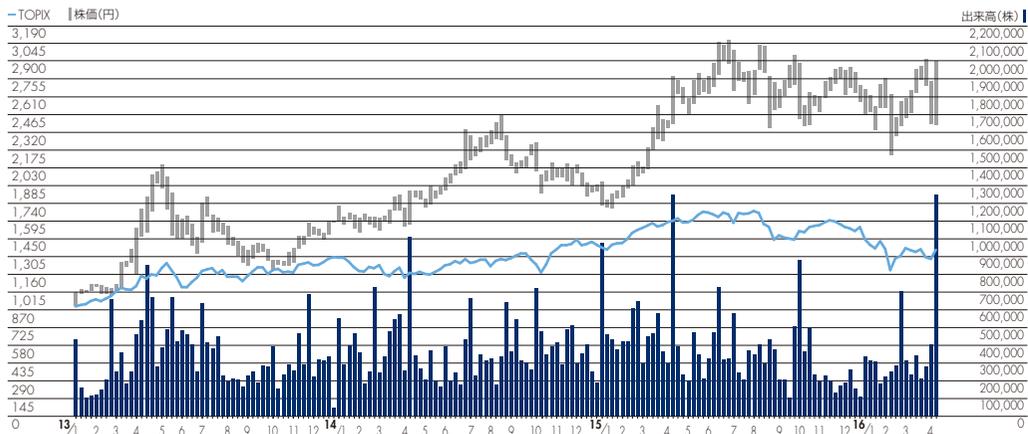


大株主 (2016年2月29日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
株式会社フジ	3,025	10.31
株式会社広島銀行	1,324	4.52
第一生命保険株式会社	1,254	4.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,077	3.67
4℃ホールディングスグループ共栄会	812	2.77
株式会社三井住友銀行	781	2.66
株式会社伊予銀行	739	2.52
株式会社もみじ銀行	477	1.63
東京海上日動火災保険株式会社	458	1.56
尾山 嗣雄	456	1.55

注：当社は自己株式2,576,277株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

株価推移



会社概要 (2016年5月19日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業および小売事業

連結子会社

9社
注：2016年4月付にて(株)三鈴の全株式を健康コーポレーション(株)様へ譲渡しております。

株主メモ

決算期日 毎年2月末

定時株主総会 毎年5月

配当金支払株主確定日 毎年2月末、毎年8月末(中間配当)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

公告 (公告方法) 当会社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。(公告を掲載するホームページアドレス) <http://www.yondoshi.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

証券コード 8008

株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都江東区東砂7-10-11

お問い合わせ先

☎ 0120-232-711 オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

各種手続き用紙のご請求

☎ 0120-244-479 音声自動応答 / 24時間受付

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。

当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yondoshi.co.jp>

IRお問い合わせ先 TEL:03-5719-3429 / FAX:03-5719-3289

経営企画部IR課 E-mail: ir-yondoshi@yondoshi.co.jp